

第 41 回テーマ

成長を強く願い、信じる

村上春樹氏の「IQ84」が爆発的に売れているという。活字離れが顕著に表れている現状を考えると、本が売れるというのは非常に痛快で気持ち良く感じる。もちろん、私も本が大好きだし、これからも色々な本と出会ってみたいと思っている。

本の良さや醍醐味というのは人それぞれだが、個人的には自分とは異なる価値観との「出会い」だと思っている。映画や音楽からも感じられる部分だが、文字にした「表現」が大変好きである。

この異質で異なる価値観を享受する事が、改めて個人のアイデンティティを確固としたものにしてくると思う。良いものは吸収しようと素直に感じる。足りないものは努力して手に入れたいと思う。全く違うという意見も、反面教師として強烈に意識するなど、企業経営の参考になる事はとても多い。

これを企業の立場で考えるならばどうだろう。業種や業態によって、もちろん組織を構成する人材及び生活背景などを含め、多種多様だ。互いに認め合い、そして企業のアイデンティティを確立していきながら、成長を信じるに違いない。しかし、まだまだ異業種交流などを含め、業界を超えた交流というのは少ないものだ。また、その価値に気がついていない企業も多い。異文化を受け入れる姿勢を取り、積極的なコミュニケーションが必要な時代ではなかろうか？

その為には、企業全体の意識レベルを確認すべき所だ。短所や長所の事を言っているのではなく、特徴はどんな所か？というのを明確にすべきだろう。さらに正しい情報の供給と判断力というのを養うべきである。1日のニュースのトピックスについて短時間で議論して、まとめるといった作業も面白いかも知れない。

常に業績優先に、合理的に判断する事も間違いではないが、幅広い価値観を受け入れる「度量の大きさ」というのを手に入れる事も戦略が必要だ。必ず成功する人はいないが、必ず成長はするものだ。成長を願い、信じる事が、企業も人材も成長の第一歩であると思う。